



校長室通信

小国町立小国中学校

令和3. 9. 24 (金) No18

文責 狭間卓史



「にこにこ」

今週22日(水)は、延期していた体育大会を開催させていただきました。開催日当日は前日からの雨が残り、開始時間を遅らせてのスタートでした。計画では24日(金)を予備日として設定していましたので再延期もあり得ましたが、生徒(特に9年生)が誰に見て欲しいのかと考えたときに、保護者さん方が時間を調整して待ってくださっていたであろうこの日に何としてでも実施したいと考えてのことでした。

今年の体育大会に際しては昨年同様、新型コロナウイルスの感染対策を講じる必要があったことに加え、台風14号の影響が予想以上に長引いたことで、活動内容・時間・場所等、制限される中での練習・準備でした。

しかしながら、「例年どおり」のことができないのならば、「今年ならではの特別な大会にする」という生徒と職員の前向きな思いに支えられ、生徒会本部や体育委員長、両団長、そして9年生を中心に、各学年が精一杯、練習に準備に取り組んでくれました。その姿は、小国中の伝統を引き継ぎながらも、新しい歴史を作ろうとする活気あふれる姿でした。

練習を重ねるたびにうまくなり、たくましくなる姿。あるいは任された自分の役割の責任を果たそうとする姿。それら全ての姿に成長を感じることができました。

大会スローガンの「にこにこ～勝ち負けにこだわらない181色の熱き闘い～」には、全員が勝つために全力を尽くしながらも、その勝敗の先に「笑顔で互いの健闘を讃え合いたい」という思いを込めていたとのこと。そこにはSDGs学習で学んできた「誰ひとり取り残さない」という考え方があってのスローガンでした。

この日の様子については、前号でお知らせしていましたが、「おぐにチャンネル」さんや「FMおぐに」さんに取材いただきました。町内在住の方々には近日中に「おぐにチャンネル」さんで放映いただけるはずですし、「FM 小国」さんには伊佐教頭をゲストとして招いていただき、生放送で会場の様子を伝えていただきました。こういう伝え方も小国町ならではのことであり、地域の学校としてのありがたさを実感しています。

これからも生徒はもちろんのこと、ご家族の皆さんや職員、そして地域の方々にとって、「にこにこ」笑顔が溢れる学校でありたいと思っています。



【笑顔】



【躍動】



【全力】



【思いを込めて】